

《情報公開文書》

AYA世代における治療関連骨髄性腫瘍の
同種造血幹細胞移植の治療成績

研究の概要

【背景】

骨髄性腫瘍（MN）は、骨髄異形成症候群や急性骨髄性白血病などを中心とした血液がんです。特に、先行する非腫瘍性疾患（自己免疫疾患等）や腫瘍性疾患（がん等）に対する抗がん剤治療または放射線治療を施行された後に発症する治療関連骨髄性腫瘍（t-MN）は予後が悪いことが報告されています。治療関連MNは、固形がん（乳がんや大腸がんなど）の治療後の高齢症例に発症することが多くみられますが、16-39歳のAYA世代においても、乳癌を含む固形がんに加え、小児がんや肉腫、悪性リンパ腫などの治療後に発症することが知られています。

治療関連MNに対する同種造血幹細胞移植（以下、同種移植）は治癒をもたらす治療法です。治療関連MNの移植成績は、先行する腫瘍性疾患の種類によって異なることが報告されています。しかしながら、AYA世代の治療関連MNの臨床的特徴や移植成績は明らかになっていません。

本研究では、全国調査のデータベースを用いて、治療関連MNに対して同種移植を受けたAYA世代の移植成績を評価することで、治療関連MN症例に対する治療戦略の開発に寄与することを目指します。

【目的】

治療関連 MN における AYA 世代の臨床的特徴と移植成績を明らかにすることを目的としています。

【意義】

本研究から得られた結果は、治療関連MNの同種移植療法の適正化と共に、今後の開発の方向性において有益な知見を提供できると期待しています。

【方法】

本研究では、日本造血細胞移植データセンターが管理するデータベース（移植登録一元管理プログラム）（以下、TRUMP）に登録された登録された同種移植例の情報を日本造血細胞移植データセンターから提供を受けます。その情報を用いて、同種移植を受けた治療関連MNにおける治療成績を解析します。

対象となる患者さん

本研究は、TRUMPに登録された以下の条件を満たす方が対象になります。

- ①同種移植を実施した t-MN 患者さん

②移植時に 16-39 歳の患者さん

③同種移植を 2001 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに実施され、TRUMP データベースに登録されている患者さん

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

日本造血細胞移植データセンターから、下記の情報を提供してもらい、本研究に利用します。

- ・患者背景
- ・臨床経過（有効性、再発の有無、副作用の有無）
- ・血液学的検査、骨髄検査、画像検査
- ・治療内容

※2025 年 12 月 31 日までの情報を利用します

情報の利用開始予定日

本研究は 2026 年 5 月 14 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

既に個人が識別できない状態で情報が提供されるため、個人を特定する事はできません。情報利用の拒否を申し出て対応できません。予めご了承ください。

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2029 年 5 月 31 日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院 細胞療法部 氏名：糸永 英弘 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7455
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
データ提供機関	日本造血細胞移植データセンター 責任者：熱田 由子 住所：愛知県 長久手市 岩作雁又 1 番地 1 愛知医科大学内 電話：0561-65-5821

問い合わせ先

【研究の内容について、情報等の利用停止】

長崎大学病院 細胞療法部 糸永英弘

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7455 FAX 095（819）7457

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）